

文字や記号



表記のしかた

日本語の文章を書くときには、「。」や「、」のほかにもいろいろな記号を使います。下の文章から「。」と「、」以外の記号を見つけてください。

福沢諭吉は1835年に大阪で生まれた。当時は士・農・工・商（士は武士、農は農民、工は職人、商は商人）の四つの身分がはっきりしており、生まれたときから自分の身分が定められていた。同じ身分の中でも階級かいきゅうの上下じやうげがあった。諭吉は「こんな制度は大嫌いだ。」と言って、低い身分から抜け出すために一生懸命勉強した。

1860年（25歳さいのとき）にアメリカに行った。このアメリカ行きによって、諭吉の目は世界に向かって開かれた。その後ヨーロッパの国々（イギリス、オランダ、ドイツ、ロシアなど）を見てまわった。そして、アメリカやヨーロッパの政治・経済・文化を紹介した『西洋事情』という本を書いた。その後、慶応義塾大学をつくったり、『学問のすすめ』という本を書いたりして、若者の教育のために力を尽くした。『学問のすすめ』のはじめに書いてある「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず…」という言葉は有名である。

日本語の文章を書くときに使う記号

1. ・(中黒、中点)

*外国人名をカタカナで書くとき、区切りを表す。

トーマス・エジソン

アダム・スミス

レオナルド・ダ・ヴィンチ

*同じレベルの語を並べてまとまりにするとき、語の区切りを表す。

市立・町立病院

国内・海外旅行

小・中・高の教育体制

2. 「 」（かぎかっこ）

* 発話部分やはっきり自立させたい部分を表す。

- ・わたしの父は「自分でよく考えろ。」とよく言う。
- ・今は「地球の危機」なのだ。
- ・わたしはいわゆる「フリーター」である。

3. 「 」（二重かぎかっこ）

* 本の題名や雑誌の名前を表す。

- ・柳田邦男という人が書いた『人間の事実』という本の中で…
- ・出典は『暮らしの手帖』暮らしの手帖社、第4世紀33号
- ・注：ヴィクトール・E・フランクル『夜と霧』みすず書房1985年

* 「 」（かこ）で囲んだ部分の中で、もう1回「 」（ひつよう）を使う必要があるとき。

- ・「わたしの母はいつも『もっとがんばって』と言うんですよ。」と彼女は言った。
- ・山川さんは「もっと『はい』と『いいえ』をちゃんと言えられるようになりたい。」と言っていた。
- ・田中氏は「いちばんお世話になったのは『クラスのお姉さん』です。」と言っていたが、だれのことだろう。

4. () (かっこ)

* 説明をもっと詳しくするとき、または別の言葉で言い換えるとき、読み方などを表すとき。

- ・野口英世のぐちひでよが生まれたのは猪苗代湖いなわしろこ（福島県ふくしまけん）の近くの小さい村だった。
- ・メーデー（5月1日）は労働者ろうどうしゃの祭典日さいてんびとされている。
- ・百合（ゆり）の花はいい香りかおがする。



練習2

次の文に記号を書き入れなさい。

1. 日本の教育制度は633年制である。
2. フリーターとはフリー英語とアルバイトドイツ語を合わせた和製外来語である。
3. 食べることを通して体と心を健全に育てようとすることを食育という言葉で表現する。
4. 夏目漱石の坊ちゃんはいろいろな外国語に翻訳されている。
5. ナノメートルの領域髪の毛の太さの1000分の1以下の領域を扱う技術がある。
6. アジアアフリカ会議が開かれる。
7. この会社にはボランティア休暇制度がある。
8. 野球は明治5年西暦1873年に日本に伝わった。
9. ガリレオガリレイは地球は回っていますと言った。
10. この本の中で著者はわたしは方言研究者ではありません。ただこの地方の方言が好きでいろいろ調べているうちに、おもしろいことがわかってきたのです。祖母がよく方言っておもしろいよと言っていたのですが、いつのまにかわたしも祖母と同じになっていましたと言っている。

2

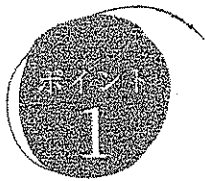
ぶんたい 文体

日本語の文章にはいろいろな種類があります。その文章を書く目的や読む人によっていろいろな書き分けるのです。

この課の
学習
ポイント

- ・ 文の種類によって文体が違うことを学習する。
- ・ 普通体（だ・である体）で書く学習
- ・ 連用中止形の使い方





ぶんしょう しゅるい ぶんたい
文章の種類と文体

日本語の文章のスタイル（文体）はその文章の種類・内容や読む人に応じていろいろです。大体次のように書き分けます。

文章の種類	文体・使われる言葉	例
子どものための本	やさしい書き言葉 (丁寧体)	<p>・むかし、あるところにおじいさんとおばあさんがすんでいました。あるひ、おばあさんはかわへせんたくにいきました。おばあさんがせんたくをしていると、かわのうえのほうからおおきなももがながれてきました。</p> <p style="text-align: right;">(昔話の絵本)</p> <p>・わたしたちの暮らしは地球の大切な資源からつくられたものによってささえられています。資源はみんなの大切な財産です。むだづかいしないように気をつけましょう。</p> <p style="text-align: right;">(小学校の社会科のプリント)</p>
新聞記事	書き言葉 (普通体)	<p>・厚生労働省は16日、国民年金の加入者で、40年を超えて保険料を払った人に過払い分を全額返還すると発表した。</p> <p style="text-align: right;">(新聞記事)</p> <p>・この雪でJR東海道新幹線は上下76本に遅れが出て、計6万8千人に影響。首都圏の鉄道も運体が相次ぎ、ほぼ全路線で遅れが出た。</p> <p style="text-align: right;">(新聞記事)</p>

<p>レポート 論文 法律 規則 など</p>	<p>かた 硬い書き言葉 (普通体)</p>	<p>・何人も、酒気を帯びて車両等を運転してはならない。 (道路交通法第 65 条)</p> <p>・勤務時間は休憩時間をのぞき、1日8時間、1週40時間とする。 (就業規則)</p> <p>・本稿は日本語母語話者がどのようなときに敬語を意識するかをアンケート調査によって分析し、考察を加えたものである。調査対象を男女、年代、職業別に分け、データを整えたが… (論文)</p>
<p>説明書 エッセイ 小説 手紙 お知らせの張り紙 メール など</p>	<p>やわらかい書き言葉 (丁寧体・普通体)</p>	<p>・日本では生後3か月の犬に対して毎年1回の予防接種が法律で義務づけられています。初めての注射のときに登録をします。登録ナンバーは全国共通で、生涯有効です。 (犬の飼い方パンフレット)</p> <p>・暖かくなりましたね。みなさんお元気ですか。うちでは最近犬を飼い始めたので、毎日にぎやかに過ごしております。 (手紙)</p> <p>・子どもがまだ小さかったころ、ともかく本が読みたかった。しかし、近所にふらりと立ち寄れる本屋さんがなくて悲しかった。あるとき、子どもたちを乳母車に乗せて遠くまで散歩に行く途中で、思いがけなく小さな本屋さんを見つけた。童話を1冊買い求めたのが縁で、以後転居するまで10年近くこの本屋さんのお付き合いが続いた。 (エッセイ)</p>

<p>発話のための原稿 (講演やスピーチの原稿)</p>	<p>かたことば 硬い話し言葉 (丁寧体)</p>	<p>・このたび私^{わたくし}は市民^{だいのう}の代表^くとして暮らしと政^{せい}治^じの橋^{はし}わたしをさせていただきたく、立候補^{りっこうほ}を決意^{けつい}いたしました。常に市民^{つね}のみなさまのお声^{こゑ}に耳^{みみ}を傾^{かたむ}け、市議会^{しぎかい}では勇気^{ゆうき}を持って発言^{はつげん}します。そして、生活^{せいかつ}実感^{じっかん}のある提案^{ていあん}をしていきたいと思^{おも}っております。 (立候補演説^{えんぜつ}の原稿)</p>
<p>ニュースや司会^{しかい}などの台本^{だいほん}</p>	<p>丁寧な話し言葉 (丁寧体)</p>	<p>・きょうはわたしの国^{くに}と日本^{にっぽん}の習慣^{しゅうかん}の違^{ちが}いについてお話ししたいと思^{おも}います。わたしの国^{くに}と日本^{にっぽん}では習慣^{しゅうかん}の違^{ちが}いがいろいろあります。わたしがいちばんびっくりしたのは… (スピーチの原稿)</p>
<p>ドラマのシナリオ など</p>	<p>いろいろなレベル の話し言葉</p>	<p>・今夜^{こんや}の「現代^{げんだい}の焦点^{しやうてん}」では、お年寄^{としよ}りの骨折^{こっせつ}についていろいろお話を伺^{うかが}いたたいと思^{おも}います。お話しくださるのは関東^{かんとう}大学の田中^{たなか}先生^{せんせい}です。田中先生^{たなかせんせい}は… (テレビのニュース解説^{かいせつ}の原稿)</p> <p>・男^{おとこ}：(下^{した}を向^むいて) だから…おれ…前に何度か言^いったと思うけど…しゃべるのあんまりうまくないからさ。だめなんだよ、おれ… 女^{おんな}：そんなこと言^いってるんじゃないのよ。あ^あのとき何^{なに}考^{かんが}えてたかかって聞^きいてるの(涙^{なみだ}を拭^{ぬぐ}く)…だって… (テレビドラマのシナリオ)</p>

練習 1-1

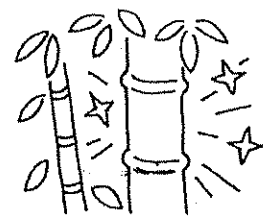
次の文章はどんな種類のものだと思いますか。□の中から選んで () の中に記号を入れなさい。

- A a 新聞記事 b アナウンサーの原稿 c 子ども向けの物語 d メール e 論文

2

文体

- 全世界のエネルギー消費量は年々増えている。現在、一人当たりの消費量は表3の通りである。先進国と発展途上国との差が大きい。この問題について一般市民としてどのような取り組みができるだろうか。()
- むかしむかし、あるところにおじいさんとおばあさんがすんでいました。二人は竹のかごをつくって、それを町の人たちにうってくらしていました。ある日、おじいさんは竹林の中できらきら光っている竹を見つけました。()
- きょうは晴れのち曇りのおだやかな一日となるでしょう。しかし、天気はゆっくりと下り坂で、土曜日、日曜日は全国的に雨になるでしょう。()
- きょうの会議で話題になった旅行の計画案を以下のように作ってみました。これで問題なければ、さらに詳しい日程表を作ります。()
- Yankeesの松井秀喜選手が警視庁の「春の交通安全運動」(4月6～15日)の啓発モデルに選ばれた。ポスターに記された標語は「目指すのは世界一 交通安全都市東京」。車内広告と合わせて計5万枚を準備し、駅や警察署などに掲示してマナー向上を呼びかける。()



- B a スピーチ^{げんこう}原稿 b 説明書^{せつめいしょ} c 手紙^{てがみ} d 規則^{きそく} e 論文^{ろんぶん}

1. 寮の門限^{りょうもんげん}は午後10時とする。外泊^{がいぱく}を希望^{きぼう}する場合は、前日^{ぜんじつ}までに許可^{きよかねが}願^{ていしゅつ}いを提出^{ていしゅつ}すること。()
2. アンケート結果^{けつか} (グラフ1) からわかるように、携帯電話^{けいたい}の利用法^{りようほう}は「通話^{つうわ}」(1日平均^{へいきん}4回) より「メール」(1日平均^{へいきん}7回) の方が多かった。これは携帯メールがパソコンメールと違う形^{ちがいかたち}のコミュニケーション手段^{しゅだん}であることを示^{しめ}している。()
3. この保証書^{ほしょうしょ}は本書^{ほんしょ}に明示^{めいじ}した期間^{きかん}・条件^{じょうけん}のもとでの無料^{むりようしゅうり}修理^{やくそく}をお約束^{やくそく}するものです。保証期間^{ほしょうきかん}経過後^{けいごのち}の修理^{しゅうり}などにつきましておわかりにならない場合は、お買い上げの販売店^{はんばいてん}または本社^{ほんしゃ}お客様^{きやくさま}ご相談^{そうだん}窓口^{まどぐち}にお問い合わせ^{とあ}ください。()
4. きょうは「携帯電話^{けいたい}とこれからのコミュニケーション」という題^{だい}で、私^{わたくし}が考えていることを述べ^のたいと思います。さて、近年^{きんねん}、携帯電話^{けいたい}は若者^{わかもの}を中心^{ちゅうしん}に大変普及^{たいへんふきゅう}率^{りつ}が高いです。()
5. うちの子はまだ小学生^{しょうがくせい}ですが、最近^{さいきん}携帯電話^{けいたい}をほしがるようになって困^{こま}っております。「電話代^{でんわだい}はだれが払^{はら}うの」と子どもに言^いっているのですが…。お宅^{たく}ではいかがですか。()

練習 1-2

どちらか適当^{てきとう}な方^{えら}を選びなさい。

1. <子どもの絵本^{えほん}>

箱^{はこ}を開けると、中からかわいい人形^{にんぎょう}が (a 出てきました b 出現^{しゅつげん}しました)。

2. <薬の説明>

この薬を飲むと、眠くなることがあります。車を運転するときには (a 飲まないこと b 飲まないでください)。

3. <スピーチ原稿>

日本へ来てもう3年 (a たちましたが b たったんだけど)、まだ慣れない習慣がいろいろあります。

4. <お知らせ>

来月から区民のための健康相談会を開始します。費用は無料ですから、ぜひ皆さん (a 参加しなさい b 参加してください)。

5. <論文>

本稿では「日本は豊かな国と言えるか」について (a 論述する b 論述してさしあげる)。以下三つの論点が (a 考えられる b 考えられるんだ)。

6. <子ども図書館の張り紙>

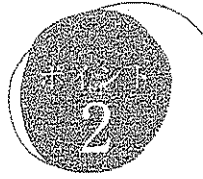
(a 私語厳禁 b しずかに本をよみましょう)。

7. <新聞記事>

2日午前0時ごろ、○町3丁目△さん (73) 方から出火。木造2階建て住宅約83平方メートルが (a 全焼した b 全焼しました)。

8. <法律 国民健康保険法第4条>

都道府県は、国民健康保険事業の運営が健全に行われるように、必要な指導を (a してください b しなければならない)。



書き言葉の文体 普通体

小論文は口で話すのではなく、事実や意見を文字で述べるものです。文体はふつう、丁寧体（です・ます体）ではなく、普通体（だ・である体）を使います。（論文では「～だ」より「～である」のほうがよく使われます。）

練習2-1

空欄を埋めなさい。

*注意 「である体」があるのは*のついたものだけです。

	丁寧体（です・ます体）	普通体（だ・である体）
動詞文	時間があります	①
	時間がありません	②
	時間がありました	③
	時間がありませんでした	④
イ形容詞文	高いです	⑤
	高くないです	⑥
	高かったです	⑦
	高くなかったです	⑧
ナ形容詞文	複雑です	⑨* 複雑である /
	複雑では（じゃ）ありません	⑩
	複雑でした	⑪* /
	複雑では（じゃ）ありませんでした	⑫

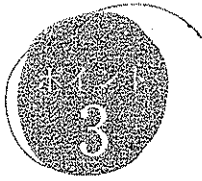
かいしぶん 名詞文	問題です	⑬*	/
	問題では(じゃ)ありません	⑭	
	問題でした	⑮*	/
	問題では(じゃ)ありませんでした	⑯	
その他	減るでしょう	⑰*	/
	大切なのです	⑱*	/
	しら調べましょう	⑲	
	不公平では(じゃ)ありませんか	⑳	

練習2-2

_____の部分を普通体(だ・である体)に直してください。

1. 家庭の中で子どもたちの「楽しい」という感覚は何から生まれるのでしょうか。
2. 97人の男女高校生を対象にアンケート調査を行いました。
3. その結果について述べたいです。
4. 昔の高校生は今ほどお金がありませんでした。
5. しかし、最近の高校生は豊かです。
6. 携帯電話、個室、テレビなど自分専用のものをいろいろ持っています。
7. このような物質的豊かさと「楽しい」という感覚とは関係があるかどうかを見てみましょう。

8. 図3からわかるようにほとんど無関係のようです。
9. 専用せんようのものをあまり持っていない子が家庭かていに不満ふまんがあるかというと、そうではありません。
10. 彼らかれが本当ほんとうにほしいものは「もの」ではないのです。
11. 我々大人われわれはこのことを知っておくべきです。
12. では、家庭でできることはどんなことなのでしょうか。
13. それは「会話」です。
14. 「会話」こそ楽しさの原点なのです。



書き言葉の文体 連用中止形

小論文では、連用中止形がよく使われます。

A 動詞

例・大がかりな実験を行って、分析をした。

→行い

・この研究所には研究員が8人いて、それぞれ専門の仕事をしている。

→おり

・この問題については多数の研究者が意見を言っていて、結論は出ていない。

→言っており

・この食品工場では作業は人間の手を使わないで、すべて機械で行っている。

→使わず

・わたしは今までリサイクルできるものをリサイクルしないで、ただ捨てていた。

→せず

B イ形容詞

例・東京は物価も高くて、人も多い。

→高く

・このレポートはデータが新しくなくて、また、わかりにくい部分が多い。

→新しくなく

C ナ形容詞・名詞

例・この実験方法は複雑であって/複雑で、また、費用もかかる。

→複雑であり



文体

・この文章は個人的な日記であって/日記で、論文とは言えない。

→日記であり

・彼は体が丈夫ではなくて、病気ばかりしていた。

→丈夫ではなく

注意

* 「て形」を使った文がすべて連用中止形の文になるわけではありません。連用中止形が使えるのは主として次のような場合です。

1. 並列を表すとき

- ・はじめに問題があり、その後^{あと}に解答^{かいとう}が書かれている。
- ・問題数^{もんだいすう}は多くなく、しかも難^{むずか}しくない。
- ・彼女^{かのじょ}は母^{つば}であり、妻^{きょうし}であり、教師^{しじん}であり、詩人^{しじん}でもある。

2. 対立を表すとき

- ・雪^{ゆき}の日、犬^{いぬ}は外^わを走りまわり、猫^{ねこ}はこたつのそばで寝^ねる。
- ・この地方^{ちほう}の気候^{きこう}は夏^{なつ}は暑^{あつ}く、冬^{ふゆ}は寒^{ふせ}い。
- ・今年^{ことし}は国^{くに}へは帰^{かえ}らず、日本^{にっぽん}で会社^{けんがく}見学^{けんがく}をする。

3. 行為の順序を表すとき

- ・データを集め、整理^{せいり}した。
- ・彼はアメリカへ行き、アメリカで結婚^{けっこん}した。

* 次の場合は連用中止形になりにくいです。

1. どのような状態^{じょうたい}で動作^{どうさ}をするかを表すとき

- ・傘^{かさ}をさして歩く。→× 傘^{かさ}をさし、歩く。
- ・傘^{かさ}をささないで歩く。→× 傘^{かさ}をささず、歩く。

2. 手段^{しゅだん}や方法^{ほうほう}を表すとき

- ・何度も書いて覚^{おぼ}える。→× 何度も書き、覚^{おぼ}える。
- ・石^{いし}でたたいて割^わった。→× 石^{いし}でたたき、割^わった。

練習 3

の部分を連用中止形に下さい。

1. よく学んで、よく遊んで、そしてよく話す。彼はそんな子どもだった。
2. 彼の意見にはいろいろ問題点があって、みんなに理解されなかった。
3. 大地震のとき、わたしたちはどうしたらいいかわからなくて、ただあわてるだけだ。
4. 新しい薬が発売されて、話題を呼んでいる。
5. 携帯電話の使い方が変化して、電話をかける以外の目的で使う人が多くなった。
6. このソフトは値段があまり高くなくて、使い方も簡単だ。
7. 彼は教師であって、作家でもある。
8. 彼女はずっとボランティア活動を続けていて、日曜日も家にいない。
9. けが人はすぐ車に乗せられて、病院に運ばれた。
10. 工事は年内に完成しないで、次の年の2月まで続いた。
11. レポートはていねいに整理されていて、わかりやすくて、内容もいい。
12. この作家はアメリカ人ではなくて、アメリカで育った日本人である。
13. 彼の論文の書き方が問題なのであって、考え方が間違っているのではない。
14. 「て形」の文は話し言葉的で、連用中止形の文は書き言葉的である。

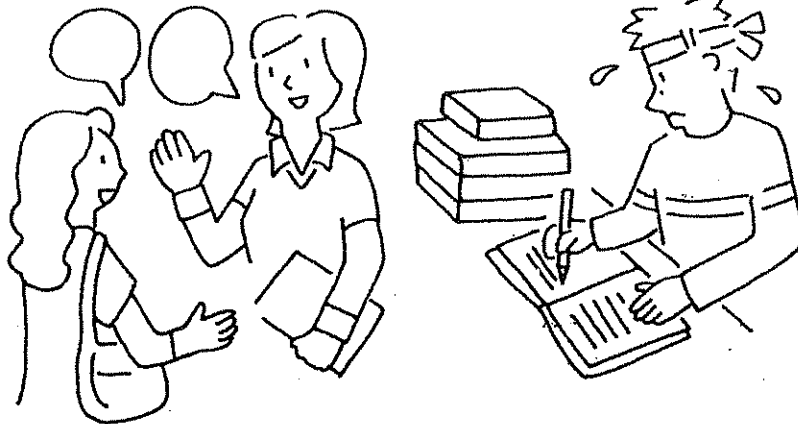
3

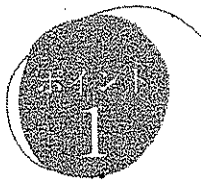
モードチェンジ 話し言葉から書き言葉へ

日本語では、人と話をするのか、人に読んでもらうための文章を書くのか、どんな人と話をするのか、どんな人に読んでもらうのか、などによって話し方、書き方を切り替えます。小論文などの文章は改まった、硬い書き方をします。

この課の
学習
ポイント

- ・話し言葉から書き言葉への切り替え
- ・硬い文章を書くときに使われる言葉





小論文を書くときに注意すること

小論文を書くときは相手に話すような文体ではなく、硬い文体で書きます。注意点をいくつかまとめましょう。

くだけた会話の場合と小論文の場合の違い - 1

日本語ではそれぞれの文体に合った言葉を選んで使います。くだけた会話で使う言葉と小論文などを書くときに使う言葉を使い分けることが大切です。

	話し言葉や軽い文章では 例	小論文では 例
接続の言葉	～から だから ですから でも だけど だって	～ため そのため したがって しかし だが というのは なぜなら
副詞など	いっぱい すごく とっても あんまり やっぱり ちょっと 少々 どんどん だんだん ぜんぜん そんなに もっと ぴったり もう やっと	多数 大勢 非常に あまり やはり 少し わずか 急速に 次第に 徐々に 全く それほど さらに より ちょうど すでに ようやく

	ちゃんと	正しく きちんと <small>せいぜん</small> 整然と 十分に しっかり
<small>ぎおんご</small> 擬音語 <small>ぎたいご</small> 擬態語など	ぺちやくちゃしゃべる 風がピューピュー吹く ぺらぺら話す ごちゃごちゃになる	にぎやかに話す 強い風が吹く なめらかに話す 軽い口調 <small>くちよう</small> で話す 乱れる <small>みだ</small> 混乱 <small>こんらん</small> する
<small>た</small> その他	～なんか ～だって ～だって (伝聞) <small>でんぶん</small> こんな そんな あんな いろんな ～みたい だめだ	～など ～でも ～そうだ ～とのことだ ～と言われている このような そのような あのような いろいろな さまざまな ～のよう いけない よくない

練習 1-1

どちらか適当な方を選びなさい。

- <レポート> 最近さいきん、携帯電話けいたいのマナーの悪さが (a すごく b 非常にひじょう) 目につく。
- <論説> A 氏の意見いけんは一般いぱんの人には (a ぜんぜん b 全くまった) 理解りかいできないだろう。
- <研究書> 作家さつか〇〇の小説せうせつのテーマは最近さいきん (a 少々しょうしょう b 少し) 変わった。
- <報告書> 売上高うりあげだかは確かにたし伸びている。(a しかし b けど)、これは一時的いちじてきなものだと考えられる。
- <新聞> 国道 18 号線こくどうで事故こうせんがあり、(a ずっと b 長時間ちようじかん) 渋滞じゅうたいが続いた。
- <校則> 自転車じてんしゃ通学者こうつうきそくは交通規則まもを守ること。なお、オートバイでの通学は (a だめだ b 認めない)。
- <レポート> このような例れいは (a 多数たすう b いっぱい) ある。
- <レポート> 町の様子ようすは (a どんどん b 急速きゅうそく) 変わっていった。

練習 1 - 2

次の文章の中には小論文の文体に合わない言葉が10か所使われています。その言葉に線を引いて、適当な言葉に変えなさい。

例 これはわたしにとってすごく重要な問題である。

非常に

最近、食品の安全性についてよく新聞なんかで取り上げられている。特に冷凍食品

やインスタント食品みたいな半調理食品が問題になっている。

半調理食品はやっぱりとっても便利だ。ちょっとの時間でたちまち食事の準備がで

きる。いろんな種類があり、値段もそんなに高くないから、日常よく使われる。しか

し、半調理食品を使うとき、わたしたちはしっかり商品のラベルを読んでいるだろうか。

あんまり読まないという人もいるのではないか。生産者側が安全な食品を作るべきで

あることは当然だが、原材料について消費者側もちゃんと注意しないとだめだ。どち

らの側も課題は大きいと思う。

くだけた会話の場合と小論文の場合の違い - 2

話し言葉や軽い文章では 例	小論文では 例
準備し <u>といた</u> 。	縮約形を使わ
見て <u>る</u> 。	ない→
簡単 <u>じゃない</u> 。	準備して <u>おいた</u> 。
	見て <u>いる</u> 。
	簡単 <u>ではない</u> 。

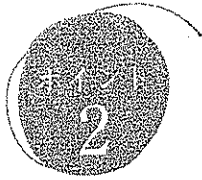
<p>調べな^{しら}きゃ (なくちや) ならな い。</p> <p>問題^{問題}なんだ。</p> <p>どんなに<u>食べた</u>って だれ^{だれ}だって</p>		<p>調べなければ (なくては) なら ない。</p> <p>問題^{問題}なのだ。</p> <p>どんなに<u>食べて</u>も だれ^{だれ}でも</p>
<p>図書館^{図書館}行ってこの病^病気^気のこと書 いた本^本探^{さが}してほ^ほしいと頼^{たの}んだ。</p> <p>この本、漢字^{漢字}少^少ないから読^読みや すい。</p>	<p>助詞^{じょし}を省^{しょうりやく}略^略し ない→</p>	<p>図書館^{図書館}へ行ってこの病^病気^気のこと を書^書いた本^本探^{さが}してほ^ほしいと頼^{たの} んだ。</p> <p>この本^本は漢字^{漢字}が少^少ないから読^読み やすい。</p>
<p>25人^{25人}が賛^{さんせい}成^成。</p> <p>ヤン氏^{ヤン氏}は今年^{今年} 50歳^{50歳}。</p>	<p>名詞^{めいし}止^どめにし ない→</p>	<p>25人^{25人}が賛^{さんせい}成^成した。</p> <p>ヤン氏^{ヤン氏}は今年^{今年} 50歳^{50歳}である。</p>
<p>みなさんよくご存^{ぞんじ}知^知のよう^{よう}に…</p> <p>実験^{じっけん}結^{けつ}果^{けつ}を^をご説^{せつ}明^{めい}する。</p> <p>○先^{せん}生^{せい}の^のご研^{けん}究^{きゅう}で^では…</p>	<p>敬語^{けいご}は使^{つか}わな い→</p>	<p>多^{おほく}くの^の人^{ひと}が知^しっ^てい^るよう^{よう}に…</p> <p>実^{じっけん}験^{けつ}結^{けつ}果^{けつ}を^を述^つべ^る。</p> <p>○の^の研^{けん}究^{きゅう}で^では…</p>
<p>展^{てん}示^じ会^{かい}は中^{ちゅう}止^しに…。</p> <p>犬^{いぬ}を飼^かっ^てい^る人^{ひと}が^ふ増^まえ^てい^る。</p> <p>中^{ちゅう}には10匹^{びき}飼^かっ^てい^る人^{ひと}も…。</p>	<p>文^{ぶん}を最^{さい}後^ごま^まで 書^かく→</p>	<p>展^{てん}示^じ会^{かい}は中^{ちゅう}止^しに^にな^なっ^た。</p> <p>中^{ちゅう}には10匹^{びき}飼^かっ^てい^る人^{ひと}も^もい^る。</p>
<p>香^{ほんこん}港^{こう}を中^{ちゅうごく}国^{こく}に返^{かえ}し^てあ^げた。</p> <p>当^{とうじつ}日^{じつ}は^おお^{あめ}大^{たい}雨^うに^ふ降^ふら^れた。</p> <p>○氏^{らくせん}は落^{らく}選^{せん}し^てし^まっ^た。</p>	<p>一^{いっぽう}方^たの^ち立^た場^ばか ら^らの^の言^いい^は方^は し^ない→</p>	<p>香^{ほんこん}港^{こう}を中^{ちゅうごく}国^{こく}に返^{かえ}し^た。</p> <p>当^{とうじつ}日^{じつ}は^おお^{あめ}大^{たい}雨^うが^ふ降^ふっ^た。</p> <p>○氏^{らくせん}は落^{らく}選^{せん}し^た。</p>
<p>さあ、い^いい^い結^{けつ}果^{けつ}に^にな^なる^らう^うか。</p> <p>まあ、こ^{この}の^の方^{ほう}法^{ほう}が^がい^いだ^らう^う。</p>	<p>間^{かんとうし}投^{とう}詞^しな^など^どを 使^{つか}わ^ない→</p>	<p>い^いい^い結^{けつ}果^{けつ}に^にな^なる^らう^うか。</p> <p>こ^{この}の^の方^{ほう}法^{ほう}が^がい^いだ^らう^う。</p>
<p>複^{ふくぞつ}雑^{ざつ}だ^だね。</p> <p>問^{もん}題^{だいてん}点^{てん}は^はほ^ほか^かに^にも^もあ^ある^るよ。</p>	<p>終^{しゅうじょし}助^{じょ}詞^しを^を使^{つか}わ ない→</p>	<p>複^{ふくぞつ}雑^{ざつ}だ。</p> <p>問^{もん}題^{だいてん}点^{てん}は^はほ^ほか^かに^にも^もあ^ある^る。</p>

モードチェンジ 話し言葉から書き言葉へ

練習1-3

次の文を小論文の文体として適切な文に変えなさい。

1. 調べてみなくちゃ何とも言えない。
2. 続けてやればいい結果が出るんじゃないかな。
3. これ、この会社の製品じゃないんでわかんない。
4. そんなこと、子どもだってできるよ。
5. 政府が考えてくれなきゃ問題は解決しないんだ。
6. 事故の原因について詳しいことは不明。現在調査中。
7. 103人の方々に1か月の外食の回数について伺った。
8. 表3をごらんになればわかるだろう。
9. 彼は大学卒業後留学生としてイギリスへ…。イギリスでは英文学を学び、帰国して英語の教師に…。
10. 9回の裏で山川選手にホームランを打たれ、試合は延長戦になってしまった。



2 叙述文（会話が直接に表れない文）

小論文ではふつう、ある人が話した言葉を「 」の中に入れてそのまま書く方法（直接話法）は使いません。「 」は使わず、ある人が言った言葉の内容だけを伝えるような書き方（間接話法）をするのが一般的です。

直接話法の例1（小説）

彼はポケットから薬の包みを出して、グラスに入れ、ポッコちゃんの前に押しやった。

「飲むかい」

「飲むわ」

彼の見つめている前で、ポッコちゃんは飲んだ。

彼は「勝手に死んだらいいさ」と言い、「勝手に死ぬわ」の声を背に、マスターに金を渡して、そとに出た。夜はふけていた。（星新一『ポッコちゃん』新潮文庫）

直接話法の例2（エッセイ）

「おばあちゃんは今までつらかったことと楽しかったことと、どっちが多かった？」

娘が祖母（わたしの母）に他愛のない質問をした。今年93歳、一人暮らし。老いからつらい経験をした母である。

「そうねえ、つらかったことは早く忘れちゃおう、と思うでしょ。だから、もうみんな忘れた。楽しかったことは何度も思い出して楽しむの。今まで楽しかったことばかりだったような気がする。」

二人のやり取りをそばで聞いていて胸が熱くなった。なんとめでたい忘れ方だろう。

間接話法の例1（小論文）

80歳以上の人たちに今までの人生でつらかったことと楽しかったことと、どちらをよく思い出すかと尋ねてみた。すると、72%の人が楽しかったことの方をよく思い出すと答えた。つらかったことの記憶は年々うすくなると答えた人もいた。

かんせつ わほう れい しょうろんぶん
 間接話法の例2 (小論文)

たばこについて、ある人は健康によくないことがわかっているのだから法律で禁止すべきだと言う。またある人はたばこを吸うのは個人の自由なのだから法律で禁止できないと思うと言う。両者の意見について考え、解決策を検討しよう。

ちよくせつ わほう
 直接話法から間接話法へ

直接話法	間接話法
「 」と…。	～と…。
「間投詞 (さあ、ああ など)」がある 「終助詞 (ね、よ など)」がある	間投詞はない 終助詞はない
「丁寧体・普通体」 「～てください」「～ないてください」 「命令形・禁止の命令形」 「質問の文」	普通形 ～てほしい ～ないでほしい ～ように ～ないように ～かどうか 疑問詞～か

練習 2 - 1

例のように間接話法を使った文にきなさい。

例 田中「近くにポストがありますか。」

交番の人「はい。駅の前にあります。」

→田中さんは交番の人に近くに ポストがあるかどうか 聞いた。交番の人は 駅の前にある と答えた。

1. 山田「映画、おもしろかった？」

中山「ううん、つまんなかった。」

→山田さんは中山さんに映画が _____ 聞いた。中山さんは _____ と答えた。

2. 親「遊ぶ前に勉強しなさいよ。」

子「宿題はもうしたよ。」

→親は _____ に _____ 言った。子は _____ と答えた。

3. 小林「お宅のばら、きれいねえ。」

田中「そう？ ありがとう。」

→小林さんは _____ の _____ が _____ とほめた。田中さんは _____ 礼を言った。

4. 先生「みなさん、連休前に試験がありますよ。」

学生「え！ 何の試験ですか。」

→先生が _____ と言った。学生は _____ 聞いた。

5. 妻「ねえ、たばこ、吸わないでよ。」

夫「うん、わかったよ。」

→妻は夫に _____ と言った。夫は _____ と答えた。

6. 佐藤「ああ、コーヒーメーカーがほしいなあ。」

田中「じゃ、君の誕生日にプレゼントするよ。」

→佐藤さんが _____ と言った。それを聞いて田中さんが _____ の誕生日に _____ と言った。

7. 中山「村上春樹という作家をご存じですか。」

リー「ええ。彼は有名ですから。」

→中山さんはリーさんに _____ 聞いた。リーさんは _____ から _____ と答えた。

8. 学生「先生、もう一度説明してください。」

→学生は先生に.....と頼んだ。

練習2-2

次の会話を読んで、その場所、もの、人を説明する文を書きなさい。

例 A: 大きいりんごですね。あ、いい香りがしますね。

B: ええ、これは青森県産で、「ふじ」という種類です。色はあまりきれいじゃないけど、おいしいですよ。

A: 一ついくらですか。

B: 170円です。

→ これは青森県産の「ふじ」というりんごである。色はあまりきれいではないが、大きくていい香りがする。一つ170円である。

1. A: わあ、大きい本屋だなあ。7階まであるね。

B: そう、本が分野ごとに別々の階に置いてあるの。

A: 本のお金はどこで払うの? 各階にカウンターがあるの?

B: 買いたい本をかごに入れて1階のカウンターに持っていけばいいのよ。

→

2. A: パパ、ここが動物といっしょに遊べる広場?

B: そう。いろんな動物がいるよ。うさぎとか、やぎとか…。抱いたりなでたりしていいんだよ。

A: 食べ物をあげてもいいの?

B: それはやっぱりだめでしょう。おなかを壊すといけないからね。

→

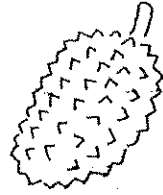
3. A: 初めて見るけど、何、これ? すごいにおいね。

B: 「ドリアン」というんだよ。原産地*はマレー半島。

A: 食べられるの?

B: もちろん食べられるさ。甘くておいしいよ。におい

が強く嫌いだという人もいるけど、「果物の王様」と言う人もいるんだよ。



*原産地 place of origin 原产地 원산지

→

.....

.....

.....

4. A: あ的那个人は田中さんですよ。この間何かの賞をもらいましたよね。

B: ええ。一人暮らしの高齢者の生活を聞いてまわって、いいレポートを発表したんですよ。

A: そうですか。お若く見えるけど、何歳ぐらいかしら。

B: 78歳ですよ。ご本人も一人暮らしだそうですよ。

→

.....

.....

.....

5. A: 4LDKか…。この家いいね。新築じゃないけど部屋が四つもあるし…。

B: 駅から15分? ちょっと不便じゃない?

A: でも、近くにスーパーもあるし、公園もあるし、小学校も近いし、子どもを育てるにはいい環境だよ。狭いけど庭もついでる…。

B: 値段がねえ…。

A: 4,860万円! 高いねえ。

→

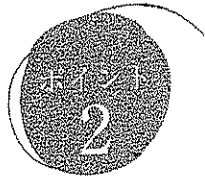
.....

.....

.....

3

モードチェンジ
話し言葉から書き言葉へ



接続の言葉 - 1

接続の言葉（接続詞など）は文章と文章との関係を表す働きをします。接続の言葉をうまく使うと文章の流れがわかりやすくなります。読む人は接続の言葉の後に来る文章の内容をある程度予測できるからです。小論文に見られる接続の言葉は大体次のようなものです。

1. 前の文とは合わないこと、反対のことを後の文で言う

しかし・だが →後の文で前の文とは合わないことを言う。

- ・このテキストは少し難しい。しかし、非常に役に立つ。
- ・人間の手仕事は機械より能率が悪い。だが、機械にはない温かさがある。

ところが →後の文で前の文から予想したことは逆のことを言う。意外感を表す。

- ・古い歌だから知っている人は少ないと思った。ところが、ほとんどの人が知っていた。
- ・時間をかけて子どもが喜びそうなおもちゃを作った。ところが、子どもはただ怖がるだけだった。

2. 前の文から考えて当然ではないことを後の文で言う

（それ）にもかかわらず・それでも →後の文で前の文に影響されないことを言う。

- ・ここは禁煙である。にもかかわらず、ここでたばこを吸っている人がいる。
- ・この本の内容はもう古い。それにもかかわらず、今でもよく読まれている。
- ・いろいろなやり方で試してみた。それでも、結果は同じだった。

といっても →後の文で前の文から予想されることと違う程度や実情を言う。

- ・来年この会の規則が変わる。といっても、「会費」の部分が変わるだけだ。
- ・体重が2キロ減った。といっても、何かダイエットをしたわけではない。

- だからといって →後の文で前の文の理由から当然考えられることを否定する。
- ・読点（、テン）のつけ方は人によって違う。だからといって、全く規則がないわけではない。
 - ・たばこは体によくないことは明らかだ。だからといって、法律で禁止できるだろうか。

それにしては →後の文で前の文から考えて当然ではないこと、不釣り合いなことを言う。

- ・ここは有名な観光地だと聞いている。それにしては、観光客が少ない。
- ・彼の日本語学習時間はまだ300時間だそうだ。それにしては、上手だ。

確かに…。しかし・だが →あることを前の文で認めておいて、後の文でそれに逆らう内容を言う。

- ・確かにこの商品はいい。しかし、値段が高すぎる。
- ・確かに人間の生活は便利になった。だが、便利すぎて心配になるときもある。

3. 前の文と対比する

それに対して・一方・他方 →後の文で前の文とは対比的なことを言う。

- ・新人の候補者Aは新しい変化を訴えている。それに対して、候補者Bは経験と具体案をアピールしている。どちらが勝つか。
- ・NHKの番組は広告がない。一方、民間テレビ局の番組はよくコマーシャルが入る。
- ・このスーパーでは野菜類がよく売れる。他方、肉や魚類はあまり売れない。

その反面／その半面 →後の文で別の面がある、と言う。

- ・田中先生の授業はわかりやすくおもしろい。その反面、宿題が多いから大変だ。
- ・彼は友だちの間で非常に人気がある。その半面、親とはあまり仲良くないようだ。

文のつながり

4. 前の文の理由・原因を言う

- というのは・なぜかという・なぜなら →後の文で前の文の理由・原因を言う。
- ・今年^{れいねん}は例年よりビールがよく売れた。というのは、非常^{ひじょう}に暑い日^{つづ}が続いたからだ。
 - ・和服^{わふく}を着る人が少なくなった。なぜなら、和服は値段^{ねだん}も高いし、着るのも大変^{たいへん}だからだ。

5. 前の文から導かれること、結果を言う

- そのため・その結果 →後の文で前の文が理由で起こった事実^{じじつ}、結果^{けっか}を言う。
- ・この大学は駅から遠い。そのため、駅前^{つうがく}から通学バスが出ている。
 - ・親^{おや}からの送金^{そうきん}だけでは学費^{がくひ}や生活費^{せいかつひ}が足りない。そのため、留学生^{りゅうがくせい}はアルバイトをしなければならない。
 - ・わずかな不注意^{ふちうい}から事故^{じこ}になった。その結果、大勢^{おおぜい}の人に迷惑^{めいわく}がかかった。

したがって →後の文で前の文から当然^{とうぜん}のこととして導かれることを言う。

- ・AとBは等^{ひと}しい。BとCは等しい。したがって、AとCは等しい。
- ・商品^{しょうひん} Aは1万円、Bは2万円である。これに5%の消費税^{しょうひぜい}がつく。したがって、払^{はら}わなければならない金額^{きんがく}は31,500円である。

そこで →後の文で前の文の事情^{じじょう}に対応^{たいおう}する意志^{いしてき}的な行為^{こうい}を言う。

- ・薬屋^{りやくや}で買った薬はほとんど効^きかなかった。そこで、インターネットでこの薬^{りやく}の情^{じょう}報^{ほう}を探^{さが}した。
- ・夏^{なつ}は食品^{しょくひん}が傷^{いた}みやすい。そこで、どんな食品^{しょくひん}が早く傷^{しら}むのか調べてみた。

すると →後の文で前の文の動作^{どうさ}に導かれて起こった出来事^{できごと}を言う。

- ・1円玉^{だま}を10枚^{まい}水の中に入れてみた。すると、そのうち8枚は沈^{しず}んだ。
- ・わからない部分^{ぶぶん}があったので、本の著者^{ちよしよ}に直接^{ちよくせつ}手紙を出した。すると、すぐ^{へんじ}に返事が来た。

練習 2-1

< >の中から最も適当なものを選んで、接続詞の欄にその記号を書きなさい。

1. <aそこで bといっても cしたがって dだからといって>

前の文	接続詞	後の文
じっけんひ 実験費は高い。	①	何度も失敗はできない。
	②	寄付を集めることにした。
	③	借金するわけにはいかない。
	④	予算の範囲内だ。

2. <aそのため bというのは cといっても dにもかかわらず>

前の文	接続詞	後の文
じっけんひ 実験は今回もうまくい かなかった。	①	もう実験のお金がもらえなくなってしまった。
	②	チャンスが全くなくなったわけではない。
	③	もう一度お金を出してくれる人がいる。
	④	天気が悪かったからである。

3. <a一方 bすると cところが dしたがって>

前の文	接続詞	後の文
わたしたちは今までと は実験方法を変えてみ た。	①	今度はうまくいった。
	②	やはり結果は同じだった。
	③	Aさんたちは実験方法ではなく、実験の時期を変えた。
	④	かかった費用も時間も前回とは異なる。

練習 2-2

文を完成しなさい。

1. 彼の人生には困難なことが多かった。それでも、
2. 工事の日は朝から大雨だった。それにもかかわらず、
3. この区域でもようやくリサイクルに協力する人が増えてきた。といっても、
4. 化学調味料*は体によくはないことはわかっている。だからといって、

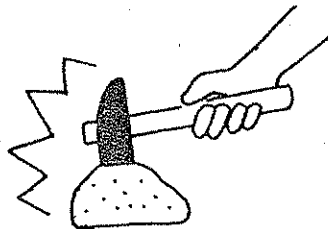
*化学調味料 chemical seasoning, MSG 化学調味料 화학조미료

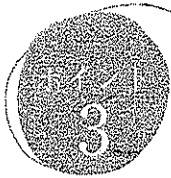
5. この会の会員は全員が60歳以上だそうだ。それにしては、
6. わたしは今、アルバイトはできない。なぜなら、
7. 最近、食品の安全に関する事件が増えている。そのため、
8. 地球資源*には限りがある。したがって、

*資源 resource 资源 자원

9. 犬を飼っている人の割合は地域によって違うらしいということがわかった。そこで、
10. 拾った石をかなづち*で軽くたたいてみた。すると、

*かなづち hammer 锤子 쇠파망치





接続の言葉 - 2

1. 言い換え・結論を言う

つまり・すなわち →後の文で前の文をわかりやすく言い換える。

- ・この食品は熱いお湯をかければすぐ食べられる。つまり、インスタント食品である。
- ・H氏は現在96歳である。すなわち、日本人男性の平均寿命を大きく超えた年齢である。

要するに・以上をまとめると →後の文で前の文章を要約して短く言う。

- ・和食の料理はつけもの、おひたし、焼き魚、さしみ、煮物などである。どれも塩かしょうゆを使う。旅館の朝食には生たまご、のり、魚の干物などが出る。要するに、塩かしょうゆがなければ、日本の伝統的な食事ができないのである。

2. 前の文の補足をする

ただし・ただ →後の文で前の文で言ったことの例外などを言う。

- ・たまごは1日に一つだけと医者に言われた。ただし、白身だけでもいいそうだ。
- ・この試験の過去の問題は公表されている。ただし、一部だけである。
- ・納豆は昔から日本人に親しまれてきた食品である。ただ、嫌いな人も多い。

なお →後の文で前の文と関係がある情報を補足する。

- ・合否については3月下旬に本人に郵送で通知する。なお、ホームページでも見ることができる。
- ・補助金を受ける人は月に1度報告書を出さなければならない。なお、その際、領収書を添付すること。

もつとも →後の文で前の文から考えられることに誤解がないように補足する。

・参加者のうち83%の人がアンケートに答えた。もつとも、全問答えていない人が多かったが。

・アンケート用紙を1,200枚用意した。もつとも、前回の残りが300枚あった。

3. 前の文に加える

それに・その上・そればかりでなく・そればかりか・しかも・加えて・さらに

→後の文でそれだけではない、という意味のことを加える。

・このキャンパスにはいろいろな施設がある。運動場や記念会館がある。それに、

乗馬の練習場、レストランなどもある。さらに、美しい庭や植物園もある。

・いろいろな食品が値上がりしている。しかも、値上がり率は大きい。

それどころか →後の文で前の文で言ったことよりずっと程度が上(または下)

のことを加える。

・彼は年をとっても体力は衰えない。それどころか、ますます元気だ。

・この建物は住むのには便利ではない。それどころか、危険なところもある。

また →後の文で別の情報を加える。

・山口氏は音楽家だが、また、小説家でもある。

・この試験は日本国内の数か所で行われる。また、同じ日に外国でも行われる。

4. どちらかを選ぶ

それとも →後の文で別の質問をする。

・地球の温暖化はこれからもますます進むのだろうか。それとも、進行が抑えられるのだろうか。

・話し合いで代表者を決めたほうがいいのか。それとも、選挙で選んだほうがいいのか。

または・あるいは →後の文で別の選択肢を言う。

・連絡先の住所と電話番号を書いてください。または、メールアドレスを書いてください。

・東京からA市まで行くには飛行機か新幹線がいい。あるいは、高速バスで行く方法もある。

5. 話題を変える

ところで →後の文で前の文とは話題が少し違うことを言う。

・以上のように、調査には住民の協力が必要がある。ところで、調査の結果は住民の暮らしにどう生かされるのだろうか。

・建設工事には以上のようにさまざまな問題があった。ところで、今、この工事のスタート時の社会環境を考えると、現在とは大きく違っていたことがわかる。

さて・さて、それでは →後の文で前の文と関係を保ちながら新しい話題を出す。

・長い年月を経て、現在このしょうゆ工場は町のシンボルになっている。さて、ここでこの町の歴史を振り返ってみよう。

・人が学習するとはどういうことか、知識を得るとはどんなことなのかということについて考えてみたい。さて、それでは、人はどんなときにどんな条件のもとで効果的に学ぶのだろうか。

練習3-1

< >の中から最も適切なものを選んで、接続詞の欄にその記号を書きなさい。

1. <a また b しかも c つまり d もっとも >

前の文	接続詞	後の文
田中さんは毎日2時間残業 <small>ざんぎょう</small> をしている。	①	1週間10時間の残業である。
	②	エアコンがない部屋 <small>へや</small> でだ。
	③	仕事は単純 <small>たんじゆん</small> なのだが。
	④	土曜日にはボランティア活動 <small>かつどう</small> をしている。

2. <a あるいは b その上 c ただし d つまり >

前の文	接続詞	後の文
この工場では毎週月曜日の朝8時45分から工場 <small>じやうちやう</small> 長の話を聴かなければならない。	①	仕事が始まる前に朝礼 <small>ちやうれい</small> *があるのだ。
	②	9時からラジオ体操 <small>たいそう</small> をやらされる。
	③	小さい子どもがいる人は出席 <small>しゅつせき</small> しなくてもいい。
	④	1か月に1度の学習会 <small>がくしゅうかい</small> に出るのもいい。

*朝礼 morning assembly 早会 早例

練習3-2

文を完成かんせいしなさい。

1. この場所は禁煙きんえん*である。つまり、

.....

*禁煙 no smoking 禁烟 금연

2. この道路どうろに駐車ちやうしやしてはいけない。ただし、

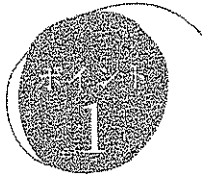
.....

3. 申し込み用紙は4月10日までに出すこと。なお、
.....
.....。
4. 昨晩は朝の4時半まで仕事をしていた。もっとも、
.....
.....。
5. 山口先生の話は非常に内容が深い。しかも、
.....
.....。
6. インターネットの悪用が一向に減っていない。それどころか、
.....
.....。
7. 田中さんは数学の教師である。また、
.....
.....。
8. 現金でお金を払うべきだろうか。それとも、
.....
.....。
9. この地方の古代の伝統行事については図書館の資料でわかるだろう。あるいは、
.....
.....。
10. 以上が江戸時代末期の幕府*の状態である。さて、それでは、
.....
.....。

*幕府, shogunate 幕府 막부



文
の
つ
な
が
り



数値を示す

数値を示すことは非常に説得力があります。ただし、数値は確かなものであること、新しいデータであることが大切です。

数値の示し方

1. 情報源を言う⇒ 〇〇の調査によると…

～が〇年に行った～を対象とする（アンケート）調査によると…

- ・〇〇新聞社の調査によると、この1か月、本を1冊も読まなかった人は52.2%だった。
- ・文部科学省が2007年に全国の公立小学校6年生を対象にして行った「全国学力・学習状況調査」によると、市町村による学力の差は大きくない。

2. 大体の数量を示す⇒ 約～・およそ～・ほぼ～・～前後

～近く・～あまり

過半数・大多数

- ・工事に必要な費用はおよそ100万円である。
- ・明日の集会の参加者は200人前後だろう。
- ・駅まで歩いて30分近くかかる。
- ・完成まで1か月あまりかかった。
- ・過半数の人が賛成した。

3. 数を示す⇒ ～（単位）である

～%を占める

- ・参加者は356名だった。
- ・毎月の生活費のうち、住居費は37%を占めている。

4. 数値が高いことを言うために示す⇒ ～に及ぶ・～に上る
～以上である・～を超える

・赤字額は1億円に上った。

・地震で全部壊れた家は1,300戸を超えた。

5. 数値が低いことを言うために示す⇒ ～にすぎない・～にとどまる
～以下である

～に満たない

・全部正しく答えられた人は26人のうち4人にすぎない。

・日本の小麦粉の自給率は13%にとどまる。

・2003年の総選挙の投票率は60%に満たなかった。

6. 比較して言う⇒ ～を上回る
～を下回る

・輸出額が輸入額を上回った。

・今年6月の雨量は3月の雨量をわずかに下回った。

7. 変化を示す⇒ 多くなった・増えた・増加した
少なくなった・減った・減少した
高くなった・伸びた・上昇した
低くなった・低下した

・1973年以降、出生率が減少している。

・ここ数年、この農園のりんごの生産高が伸びている。

8. 数値からわかることを言う⇒

この数値・このこと・以上のこと から…ということがわかる・言える・

考えられる

この数値・このこと・以上のこと は…ということを示している・表している

練習 1-1

143 ページの資料を見て、次の文章の _____ に適当な数値または
_____ 語句を書きなさい。

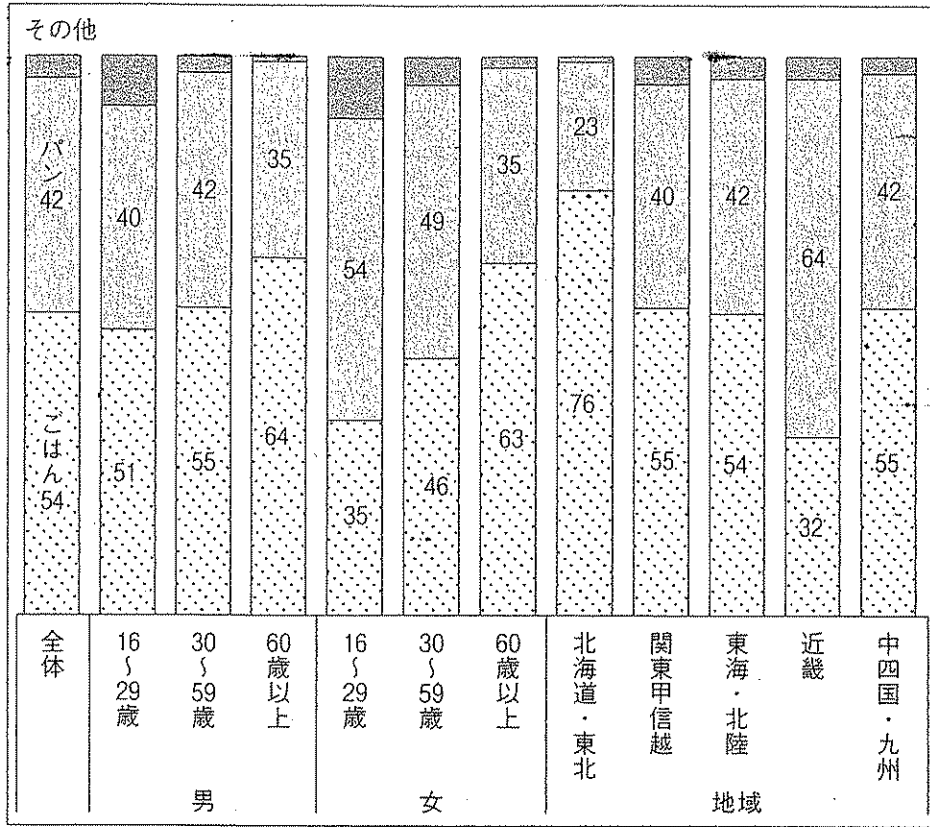
_____ が _____ 歳以上の人を対象に行った、「
_____ 」によると、全体で _____ %の人が朝食にごはんを食べ、
_____ %の人がパンを食べることがわかった。ごはんを食べる人がパンを食べる人を12パー
セント _____ ている。

地域別に見ると、ほとんどの地域でごはん派の方が多いが、近畿地方だけはパン派
が _____ %で、ごはん派の _____ 倍である。一方、米の産地がある北海道・東
北地方は _____ 派が _____ %を _____ ている。つまり、パン
派の3倍以上である。他の地域より特に多い。

男女年齢別に見ると、女性の場合、年齢が高くなるほど _____ より
_____ を好む傾向が見られる。60歳以上のパン派は35%に _____ 。10
代～20代の女性の場合はこの数字が逆で、 _____ 派が35%である。また、
この世代の女性はごはんやパン以外のものを朝食にしている人が _____ %いるこ
とも特徴的だ。

朝食はごはんかパンか (2006年)

単位：%



(注) その他はめん類、シリアル、クラッカーなど

(資料) NHK 放送文化研究所「食生活に関する世論調査」から

練習 1-2

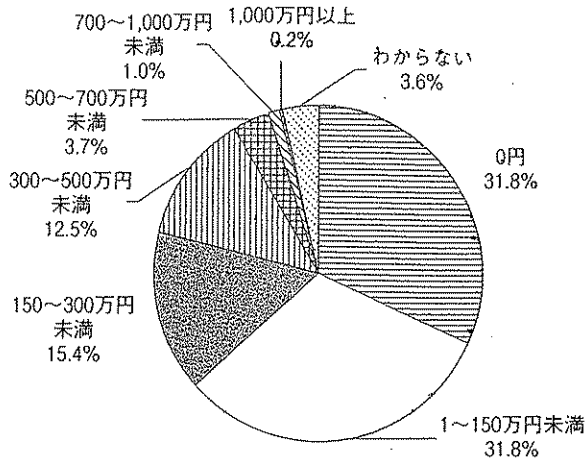
145 ページの資料を見て、次の文章の _____ に適当な数値または
 語句を書きなさい。

1. 日本の30代~40代の女性の収入は決して多くない。 _____ が発
 表した「 _____ 」によると、30代~40代の
 女性 _____ 人のうち、年収が500万円以上の方は5%に _____ 。一
 方、収入がない人と _____ 万円未満の人が共に31.8%を _____ てお
 り、合わせて _____ %になっている。
2. 日本では、家庭で夫と妻とが家事・育児を公平に分担しているとは言えな
 い。 _____ 年に _____ が30代~40代の女性を対象に行ったア
 ンケート調査では、回答者 _____ 人のうち「妻と夫で同じ程度担って*いる」
 と答えた人は6%に _____ っていない。約 _____ %の人が「ほとんど
 妻が家事・育児を担っている」と答えている。

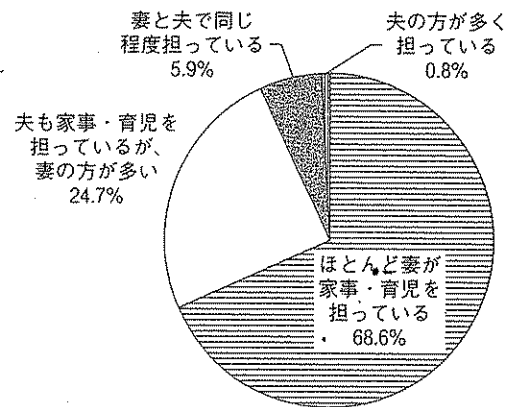
*担う shoulder 承擔 짊어지다 · 떠맡다

3. 日本の女性は、子育てに「つらさ」を感じている人が少なくない。内閣府男女
 共同参画局の「 _____ 」(_____ 年 _____ 月
 発表)によると、「楽しいと感じることの方が多い」と答えた人が _____ %で
 最も多いが、「 _____ 」と言う人
 も37.8%と約 _____ 割を _____ 。また「つらいと感じることの方
 が多い」という回答も約 _____ %ある。

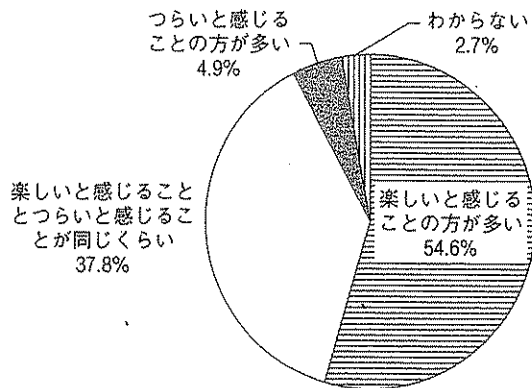
1. 本人の年収：回答 3,100人



2. 夫婦間の家事・育児の分担状況：回答 2,298人



3. 子育ての楽しさ・つらさ：回答 1,748人



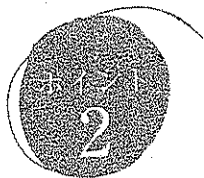
事実を示す方法



(注) アンケート調査の対象は 30代～40代の女性

(資料) 内閣府男女共同参画局

「女性のライフプランニング支援に関する調査報告書」平成 19年 3月 から



公の事実を示す

公の事実というのは歴史として知られている事実や過去の出来事、新聞に書いてあったこと、だれもが知っている状態などのことです。自分の感想や感情を入れないで書きます。

公の事実の示し方

1. 今の状態を示す⇒

～は～である。

日本で最も雨量が多いのは例年6月である。

～には～がある。

日本には1都1道2府43県がある。

～は～する。

～は～される。

国会議員は国民の選挙によって選ばれる。

現在は～ている。

現在は車の走行中シートベルトをつけることが義務づけられている。

2. 歴史的な事実、過去の出来事を示す⇒

○年に(○月○日に)～が～た。

1961年に人類史上初めて有人ロケットが宇宙に放たれた。

～は○年に～ている。

日本と中国は1972年に国交を回復している。

3. あることの結果を示す⇒

この結果、～た。

この結果、新しい法律が作られることになった。

結果は～だった。

結果は○○党の勝利だった。

練習2

次の文に続けて、^{るんきよ}に論拠となる公の^{おおやけ}事実^{じじつ}を書きなさい。ヒントを^{さんこう}参考にしなさい。

1. 日本では^{しょうひしゃ}消費者が買い物をすると^{しだい}ころが次第^{へんか}に変化している。.....

.....

.....

.....

.....

.....

ヒント：消費者はどこで買い物をするか。 買い物をするところが^{りゆう}変化した理由は何か。

2. 日本では^{はたち}二十歳前にお酒^{さけ}を飲んではいけない。また、たばこも^す吸ってはいけない。.....

.....

.....

.....

.....

.....

ヒント：^{みせいねんしやくしんしほう}未成年者飲酒禁止法 ^{たいしやう}大正11年(1922) ^{みつえん}未成年者喫煙禁止法 ^{めいじ}明治33年(1900)

3. ^{きんねん}近年、^{かくち}世界各地で^{しぜんさいがい}自然災害が起きている。.....

.....

.....

.....

.....

.....

ヒント：^{ししや}死者6万人以上の災害の例

2008年 ^{おおとしん}大地震(中国四川省)、^{ちやうごくしせんしやう}サイクロン(ミャンマー)

2005年 大地震(パキスタン)

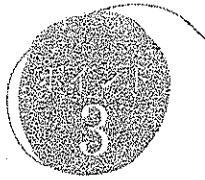
2004年 ^{おおつなみ}大津波(インド洋)

4. ^{げんざい}現在、ごみは^{ぶんべつ}分別して出すことが^{いっぱんか}一般化している。.....

ヒント：自分たちが住む^{ちいき}地域ではごみをどのように分別しているか。

5. モーツァルトは^{てんさいてき}天才的な^{さつきやくか}作曲家である。.....

ヒント：モーツァルト (1756～1791) は5歳で作曲を始めた。「^{しんどう}神童」と言われるほどの^{さいのう}才能を持っていた。^{やく}約700^{きやく}曲の音楽を作曲した。今も世界中の人に^{あい}愛されている。



公おおやけになっている文章ぶんしょうを引用いんようする

他の人が公おおやけに発表はっぴょうした文章ぶんしょうの一部いちぶを目的もくてきに合わせて引用いんようすると、説得力せつとくめよくが高まります。
引用いんようする場合は、引用いんようの範囲はんいを示ししめ、必ずかならその情報源じょうほうげんを書かなければなりません。

引用のしかた

1. 自分の文章と引用した文章がはっきり区別くべつできるように書く。
2. 原文げんぶんに書いてあるとおりに正確せいかくに書く。
3. 出典しゅつてんを明らかにする。(出典が多い場合は小論文しょうろんぶんのおわりにまとめて書きます。)

例1

加藤かとうとも子は『情報テクノロジーの〇〇』(△△社)の中で「メールの普及ふきゅうは現代人げんだいじんから真まことのコミュニケーション力りよくを奪うばった。」と言っている。

例2

若者わかもののコミュニケーション力低下ていかの原因げんいんの一つにパソコンの普及が考えられる。「メールの普及は現代人から真のコミュニケーション力を奪った。」(加藤 2008)^{注1} という主張しゆは確かに現実を言い得ている。

注1: 加藤とも子『情報テクノロジーの〇〇』(△△社) 2008年

練習 3-1

次の文章の中で、ある人の言葉として引用されている部分を「 」でくくりなさい。

1. 今、文章を書くのは苦手だという人が多い。特に若い人はあまり文章を書きながらしない。しかし、学校教育の中で「書く練習」をもっとするべきだとわたしは思う。書くことによってものを考えるようになるからだ。教育学者田中哲治も『書くことは考えること』（ABC社）という本の中で、書く力をつけることは考える訓練になる。子どものときからやったほうが良いと主張している。
2. 日本人の中でも日本語は難しい言語なのだと思っている人がいる。本当にそうだろうか。どの国の言葉にもそれぞれの特徴があり、その特徴が違うだけだと思う。アハマド・ムーサという日本語学者も『△△について』（○○社）の中で、彼が日本語を独学*で勉強し始めたときはこんなわかりにくい言語があるのかと、頭がズキズキしたということだが、同じ人間である日本人が使っているのだから、エジプト人の私にもできるはずだ。よし、がんばってみようと思いなおしたと述べている。
3. 1990年代にテレビゲームが世に出たころから子どもたちの遊び方が変わってきた。テレビゲームに多くの時間を費やし、外で友達と体を動かして遊ぶことが少なくなってきたのである。この傾向は今世紀に入ってからさらに進んだ。今では子どもだけでなく、大人たちもパソコンやケータイなどの情報通信機器*にどっぷり漬かっている。この状態にわたしは危機感*を持つのである。児童文学者山本あや子も『子どもの△△』（○○出版）の中で、今、子どもたちが危ない。危ないのは子どもたちだけでなく、大人も社会全体も情報通信機器による影響を受けすぎている。しかも、その深刻さに気づいていないと訴えている。

*独学 self-study 自学 自学

*情報通信機器 information and telecommunications equipment

信息通讯器械 정보통신기기

*危機感 sense of crisis 危机感 위기감

練習3-2

下に書いてある文を引用して、.....に書きなさい。

1. 時代が移るとともに、使われなくなっていく言葉（死語）がある。いわば時代遅れの言葉である。そのうち辞書にも載らなくなり、忘れられていく。しかし、それらの中には深い意味を持つ、捨てるべきではない言葉もあるだろう。.....
もその著『.....』（.....）の中で、「.....」
と言っている。

ひとつの言葉をいらないと感じることは、その言葉が表現する大事なものもおなじようにいらないと拒絶することなのです。
 (五木寛之『元気』幻冬舎文庫)

2. いい体もいい心もいい習慣によってつくられる。その意味で生活習慣はお金より大切なものだ。そして、お金よりも確かに次の世代に伝わる。医師.....
はその著『.....』（.....）の中で、「.....」
と言って、このことを強調している。

家族、子孫に残すものは何か、それはよい習慣です。

(日野原重明『死と、老いと、生と』中央法規出版)

3. 日本人のための国語教育でも外国人のための日本語教育でも「要約力」の指導にもっと力を入れてもいいのではないかとわたしは思う。.....も
『.....』（.....）という本の中で、要約は「.....」
と言っており、
 また、要約する力は「.....」
と主張している。

長い文章を要約するときだけではなく、日常生活の中で常に必要とされている力なのです。

練習すれば必ずうまくなる。野球でいうと、バントみたいなものです。

(齋藤孝『齋藤 孝の 実践!日本語ドリル』宝島社)

4. 母国語でも外国語でも優れた読解力を持っている人は「読み」に対して積極的な態度で取り組んでいる。語彙力はもとより一般的な知識や類推力など、自分が持っている力を総動員する。このことについて ()注1)は「
」と報告している。

注1: 中村かおり「推測読みにおける読解ストラテジーの観察」『拓殖大学留学生別科紀要第18号』2008年

優れた読み手は複合的にストラテジーを用いることにより、推測とその修正の妥当性を多様な角度から確認しているのだと思われる。

(中村かおり「推測読みにおける読解ストラテジーの観察」
 『拓殖大学留学生別科紀要第18号』2008年)